

【 株式会社ヤマダ電機 月次IR情報 】



■ 2013年3月期（自2012年4月1日 至2013年3月31日） 売上高前年比推移（POSベース）

【全店POSベース売上】

（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
単体：全店	88.4%	75.8%	67.2%	71.2%	90.6%	95.1%	89.0%	96.7%	90.0%	92.2%	95.3%	91.2%	85.0%
グループ：全店	88.3%	76.2%	67.6%	71.5%	90.1%	94.6%	89.2%	96.6%	90.3%	92.3%	95.2%	92.3%	85.3%
グループ：既存	71.9%			82.2%			87.7%			89.9%			82.9%

[単体全店・・・ヤマダ電機単体の全店POS速報ベース売上前年比、グループ全店・・・単体+子会社（ベスト電器除く）のグループ全店POS速報ベース売上前年比、グループ既存店・・・四半期ごとに3ヶ月集計のグループ既存店POS速報ベース売上前年比を開示いたします。]

注1： 数値は店舗POS速報データに基づいており各月及び累計の数値は決算の数値とは異なります。
また、卸売上、ソリューションビジネス関連売上、各種取次手数料売上等の売上は含まれません。
注2： 「POS売上」は、携帯電話売上速報値を含むPOS速報データとなっています。

■ 月次概況説明

2013年3月度は、祝日が1日多くなっています。

一方、出店数に関して前年2-3月は33店舗の新規出店、今年2-3月は1店舗のみの新規出店となっています。また、前年3月の東北3県、地上デジタル放送移行に伴う映像関連の反動減等が発生、合わせて全体で6%程度のマイナス要因があります。

商品別では、各種政策による反動減により、テレビ、レコーダー等の映像関連が引き続き低迷しました。

冷蔵庫、エアコンを中心に白物家電（特に省エネ家電）、空気清浄器、デジカメ、ゲーム関連商品が好調に推移しました。

PC本体が先月同様、新モデル切り替えに伴い単価ダウンが続いています。その他、携帯電話が伸び悩みました。

2012年度における弊社市場シェア（推計）に関しては、前年度と比較して上昇しております。

■ 当期の売場面積推移

【グループ全店ベース】

（単位：㎡・％）

期初		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	経過月計	累計	期初比
2,098,387	開店	13,792	8,627	16,293	14,148	22,887	8,597	6,929	26,209	16,697	14,905	0	1,980	151,064	2,236,738	106.6%
	増床	72	38	0	0	0	0	0	14	0	0	95	0	219		
	閉店	-5,711	0	0	-2,689	-4,036	0	-496	0	0	0	0	0	-12,932		
	計	8,153	8,665	16,293	11,459	18,851	8,597	6,433	26,223	16,697	14,905	95	1,980	138,351		

本月次IR情報の内容は、発表日時点で入手可能な情報に基づき当社月次概況の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本月次IR情報中の数値及び画像等の各データ、説明、イメージ、見解や予定は、多分に不確定な要素を含んでおり、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。株式会社ヤマダ電機及びそのグループ各社の役員または従業員は、本資料の使用、その内容から生じる直接的、間接的または派生的な損害